



—東地中海地域ニュース—

イスラエル：リーベルマン外相の単独インタビュー

(4月22日付現地各紙)

22日付イスラエル各紙は、リーベルマン外相がロシア紙とのインタビューで、米国はイスラエルの全ての決定を受け入れる等の発言をしたと報じている。概要は以下の通り。

1. 約2週間前、リーベルマン外相は、ロシアの主要日刊紙「Moskovsky Kosomolet」紙との単独インタビューに応じ、中東和平プロセスの進展はイスラエルの取り組み次第とするオバマ米大統領の主張を否定しつつ、「米国はイスラエルの全ての決定を受け入れるだろう」と述べた。
2. リーベルマン外相は、自身の包括的な政策について外相就任後初めて語る場として、イスラエル日刊紙ではなく、ロシアの日刊紙を選択し、同紙はリーベルマン外相の言葉を引用した「我々（イスラエル）の役割は米国とロシアを近づけること」との見出しで報じた。
3. ロシアの中東和平への関与について、リーベルマン外相は、イスラエルは「クレムリンの役割」を評価していない。ロシアはムスリム世界に特別な影響力を有しており、ロシアは中東地域において重要な役割を果たすべき戦略的パートナーであると考えている、と述べた。
4. リーベルマン外相は、イスラエル最大の脅威はイランではなく、アフガニスタン及びパキスタンであると述べた。なお、イラクはアフガニスタン及びパキスタン、イランに次ぐ三番目の脅威とした。